

郵政民営化委員会（第247回）議事要旨

日 時：令和4年5月30日（月）13:29～14:20

場 所：w e b 形式にて開催

出席者：山内委員長、関口委員長代理、佐藤委員、関委員

（敬称略）

日本郵政株式会社	浅井常務執行役、風祭執行役経営企画部長
日本郵便株式会社	田中執行役員、目黒執行役員経営企画部長
株式会社ゆうちょ銀行	新村常務執行役、福岡常務執行役、 生田経営企画部担当部長
株式会社かんぽ生命保険	宮澤常務執行役、宍戸執行役員経営企画部長

1. 議事

日本郵政グループの2022年3月期決算等について

2. 委員会での説明・意見等

○ 日本郵政グループの2022年3月期決算等について

① 資料に基づき日本郵政グループ各社より説明【資料247-1～5】

② 委員からの意見等

- ・ 個人保険の新契約年換算保険料を見ると、かんぽ生命の営業活動については、多少戻っているがスピードが遅いと感じた。これは、予想どおりか。2022年度は、日本郵便からのコンサルタントを受け入れた新しい営業体制に期待したい。
（⇒ （かんぽ生命）我々も営業活動の戻るペースはご指摘のように感じている。2021年度は新しい営業体制の準備で大変だったが、2022年度は営業活動に注力できる環境が整ったと感じているので、確実に実績を積み上げていきたい。）
- ・ ゆうパックの取扱物数が前年度から減少しており、ほかの大手宅配業者に比べて需要を取り損なっていると指摘する報道もある。今後の改善に期待する。
（⇒ （日本郵便）ご指摘のとおり、取扱物数が減少している。今後サービス改善や他社との提携を通じ努力していきたい。）

－以上－

注）議事要旨は事後修正の可能性があることに御留意ください。また、詳細については追って公表される議事録を御覧ください。